

艦船用 10 K 小形銅管  
差し込みろう付けフランジ

F 7291C (1)

制定 昭和34. 7. 23

改正 平成11. 9. 28

この改正票は、**NDS F 7291C** 艦船用 10 kgf/cm<sup>2</sup> 小形銅管差し込みろう付けフランジ（昭和 51. 8. 5 改正）の一部となるものであり、これと併用される。

1 頁名称中の “10 kgf/cm<sup>2</sup>” を “10 K” に改める。

1. 中の “10 kgf/cm<sup>2</sup>” を “0. 98 MP a” に改める。

2. 表中の “kgf/cm<sup>2</sup> 10” を “MP a 0. 98” に改める。

5. 名称中の “10 kgf/cm<sup>2</sup>” を “10 K” に改める。

付図名称中の “10 kgf/cm<sup>2</sup>” を “10 K” に改める。

付図中の “重量” を “質量” に改める。

- 解説**
1. この改正票は、計量法が国際単位系（S I）に移行することに伴う改正である。
  2. 名称の kgf/cm<sup>2</sup> については、J I S F 7 4 2 7 -1997 の呼称にあわせた。

艦 船 用 10kgf/cm<sup>2</sup> 小 形 銅 管  
差 込 み ろ う 付 け フ ラ ン ジ

制定 昭和 34.7.23

改正 昭和 51.8.5

1. 適用範囲 この規格は、艦船の船体部及び機関部の管系に使用する呼び圧力10 kgf/cm<sup>2</sup> の小形銅管差し込みろう付けフランジ（以下フランジという。）について規定する。
2. 流体の状態と最高使用圧力との関係 流体の状態と最高使用圧力との関係は、表のとおりとする。

表

流 体 の 状 態	最 高 使 用 圧 力 kgf / cm <sup>2</sup>
空気、油及び水 <sup>(1)</sup>	10

注 (1) 120℃以下で脈動水を含む。

3. 形状・寸法 形状及び寸法は、付図のとおりとする。
4. 材 料 材料は、JIS H 5101（黄銅鑄物）のYB<sub>s</sub>C1とする。
5. 呼 び 方 呼び方は、名称及び呼び径により、例のように表すものとする。

例：呼び径50mmの場合

艦船用10 kgf/cm<sup>2</sup> 50mm小形銅管差し込みろう付けフランジ

6. 表 示 フランジには、その側面に防衛庁規格によることを示す“N”の文字、小形フランジであることを示す“S”の文字、呼び圧力及び呼び径を例のように刻印するものとする。

例：呼び径50mmの場合

NS10K φ50

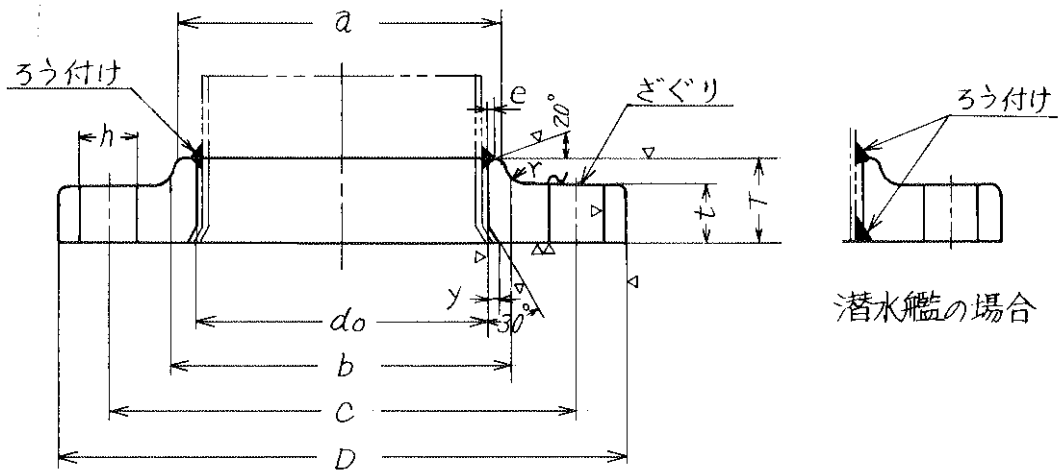
---

関連文書：この防衛庁規格に引用した次の文書は、最新版とする。

引用文書：JIS B 2203 管フランジの寸法許容差

JIS H 5101 黄銅鑄物

付図 艦船用10 kgf/cm<sup>2</sup>小形銅管差し込みろう付けフラシジの形状及び寸法



単位 mm

呼び径	適用する銅管の外径	差し込み穴の径 do	外径 D	肉厚 t	高さ T	ハブ部			ボルト穴		ボルトの呼び	参考				計算重量 (kg)	
						a	b	r	中心円の径 C	数		h	y	e	ざぐり径		
															水上艦		潜水艦
10	15	15.5	80	10	18	25	29	3	55	4	15	M 12	2	3	25	26	0.39
15	20	20.5	85	10	18	30	34	3	60	4	15	M 12	2	3	25	26	0.44
20	25	25.5	95	12	18	38	42	3	70	4	15	M 12	2	3	25	26	0.65
25	30	30.5	100	12	18	43	47	3	75	4	15	M 12	2	3	25	26	0.71
32	38	38.5	110	14	22	53	57	3	85	6	15	M 12	2	3	25	26	0.97
40	45	45.5	115	14	22	58	62	3	90	6	15	M 12	2	3	25	26	1.02
50	55	55.5	130	16	24	73	77	4	105	6	15	M 12	2	3	25	26	1.50
65	70	70.5	150	16	24	93	97	4	125	6	15	M 12	3	4	25	26	1.98
80	85	85.5	175	16	24	101	105	4	140	6	19	M 16	3	4	31	32	2.48
(90)	95	95.5	185	16	24	111	115	4	150	6	19	M 16	3	4	31	32	2.69
100	110	111.0	200	18	26	126	130	4	165	8	19	M 16	3	4	31	32	3.27
125	130	131.0	230	18	28	156	160	4	195	8	19	M 16	4	5	31	32	4.54
150	160	161.0	260	20	32	186	190	5	225	12	23	M 16	4	6	31	32	5.67
(175)	180	181.0	295	20	34	208	212	6	255	12	23	M 20	5	7	38	40	7.53
200	210	211.0	320	22	36	232	237	6	280	12	23	M 20	6	8	38	40	8.56

- 備考 1. 括弧を付けた呼び径のものは、なるべく使わないのがよい。  
 2. 寸法許容差は、JIS B 2203 (管フランジの寸法許容差)による。  
 3. 重量は1 cm<sup>3</sup>を8.735 gとして計算した。
- 参考 1. フランジの締め付けに用いるボルト及びナットは、JIS G 3101 (一般構造用圧延鋼材)のSS 41又はこれと同等以上の強度を有するものとし、原則として、海水に触れる箇所には、亜鉛めっきを施すものとする。  
 2. ざぐりは、黒皮のとれる程度とする。